

AG5

補習授業校情報交換会 #5

遠隔授業と「評価」

各地の開始時刻

2020年5月13日(水)

USハワイ	4:00AM
US太平洋	7:00AM
US山岳部	8:00AM
US中部	9:00AM
US東部	10:00AM
英国等 (西ヨーロッパ)	3:00PM
仏独等 (中央ヨーロッパ)	4:00PM
タイ等	9:00PM
中国等	10:00PM
日本	11:00PM



マイクのミュートを解除して
お話しください。

<画面の設定>

右上/左上のボタンや画面スワイプで切り替わります。



スピーカー・ビュー

話している人が大きく見えます。



ギャラリー・ビュー

多くの参加者の表情が見えます。

出席者所属校

アイオワシティ	三育学院サンタクララ校	ブラッセル
アイルランド	ジュネーブ	ヘルシンキ
イスタンブール	ダラス	ベルリン中央学園
エドモントン	チューリッヒ	北東イングランド
オハイオ西部	青島日本人学校	マニラ日本人学校
カールスルーエ	デトロイト	マルセイユ
クリーブランド	デュッセルドルフ	ミネアポリス
グリーンビル	ニューポートニュース	ミラノ
ケルン	ニュルンベルク	目白大学
コペンハーゲン	ハイデルベルク	モントリオール
コルマール	バンコク日本人学校	ロチェスター
コロンバス	ピッツバーグ	ワシントン
甲府市立大國小学校	ブダペストみどりの丘	
サウスカロライナ	プノンペン日本人学校	

<本日の次第>

1. 現況報告・情報提供
2. 質疑、意見交換

<ご参照ください>

AG5補習授業校情報交換会資料 <https://www.ag-5.jp/post/detail/13>

AG5ウェブサイト <https://www.ag-5.jp>

AG5発表ブース <https://www.ag-5.jp/post>

オンライン授業のレポートもこちらでごらんいただけます。

補習校教員交流Facebook

<https://www.facebook.com/groups/1664125650300837/>

海外子女教育振興財団（JOES） <https://www.joes.or.jp>

次回予告

5月24日（日） #5と同時刻
情報交換会#6 「元氣の出る話」

- ・ 楽しく学べた活動の報告
- ・ 子どもたちが見せた意外な力
- ・ やってみて分かったこと
- ・ ウィルス対策の新しい展開
- ・ 町の中の楽しい話、おもしろい話 など

近況報告や他校への質問は、テーマに関わらず積極的にお願いします。

<近況報告・聞きたいことなど>

🌸三育学院サンタクララ校 *****

三育学院サンタクララ校での遠隔授業導入について簡単にお伝えします。

3月15日に卒業証書授与式が行われ、3日後には、遠隔授業の方向性が決まり、始動しました。誰もやったことがない世界。どれだけ生徒が集まるのか。全くわからない状態。そこで早い時期に動画配信のみで行くことに。そこでどうプレゼンできるか。喋り方から機材活用まで、毎日zoomで全教員で会議しシェアし、通常の1週間遅れで、4月13日に1学期スタートが決定。外出禁止令が出たのが3月19日。蓋を開けてみたら休学者は5%未満。そして失業などの経済困難な家庭には特別奨学金を用意。また中学部では手探りでGoogle Classroomを導入。先週から一部のクラスで、zoomを使ったホームルーム、「つながRoom」をパイロットテストとしてスタート。これが三育の拙い遠隔授業です。方向性としては、親子に負担ができるだけ少ない遠隔授業というところでしょうか。

🌸ダラス *****

ダラスは今週土曜日より、小学部でも完全にZoomやGoogle Meetを利用したライブの対面授業へ変わります。時間割通りに6時間です。（低学年は慣れるまで4~5時間の学年もあります）

先週の今頃までは必死に授業動画を作っていたのですが、今週からは授業準備の仕方が変わります。何事も初めての体験なので、先生方で日々相談をしながら手探りで進めています。

🌸エドモントン *****

・子どもたちの学びをどうとらえるか？

どこの家庭も現地校の勉強を優先してから日本語学習に取り組んでいられると感じています。将来が益々不明慮になる現状、この時間を貴重な時間として、家庭で継承語である日本語の勉強に熱心に取り組んでほしいです。それができる家庭は多くないと感じています。子どもをやる気にさせるのに苦労されていると感じています。漠然ですが達成感みたいなものを感じることができれば学びを続けてくれると思います。

・遠隔授業の効果はどこに？

日本語の先生として生徒に認識された、画面越しに日本語を勉強するルーティンができた事は非常に良いことだと思います。また生徒のご家族全員に教師の顔が認知されるという状況は安心感→信頼につながるのではないのでしょうか。

・分かってきた注意点は？

一年生は対面で丁寧を心掛けて褒めて指導してきました。生徒一人一人がもってる読み（発音）書きの癖を見てあげることが難しいと感じます。また自分自身がオンラインの進行（ライブ）で頭が一杯になってしまって、生徒への目配りが置き去りになってしまっているときがあると感じています。また観察をしているのですが、直接植物に触れられない、匂いが伝えられないので教師の感じたことを伝えていきます。感性の部分で生徒が受け身になっていると感じました。しかしそ

の後生徒は自宅で植物の観察をするようになったことを報告してくれました。オンラインクラスで始めた観察が、「自ら学ぶ姿勢」につながった事は大変良かったです。

先週のオンラインクラスは50分遅れの開始となりました。自宅のインターネットが突然接続できない状態になったからです。場所を他に移動して行いました。緊急時が発生した場合どういう対応をするのか事前に保護者と話し合っておくべきだったと思いました。

🌸 ジュネーブ *****

①同期型授業週2コマ

②非同期型授業週2コマ（その間、担任は待機し、質問に答える）

という形で行っております。

プラットフォームは現在、webexを使っております。また、家庭学習のやりとりもセキュリティの面からホームページに掲載する形をとっています。

そのため、児童生徒からの提出はできない状態です。

先日の佐々様の情報交換会から、世界中の多くの学校がzoomを使っている点、グーグルでの家庭学習のやりとりをしている点を再度運営委員会と相談しました。

①プラットフォームは、zoomは保護者の不安を払拭できない。度々変更するのは、保護者にとって「煩わしい」等という判断で、webexを継続使用することとなりました。

②家庭学習のやりとりは、teamsを使わせて頂く予定です。（13日の会議で決定します）

更に、5月末には、オンライン学級懇談会を行います。

また、6月にも閉鎖が継続された場合には、オンライン授業を使っている企画を行って参りたいと考えています。

現在のところ、キャリア教育と国語学習を兼ねた講演会を検討中です。

情報交換会から、運動会も早めに中止を決定する運びとなりました。

こちらもただ中止にするのではなく、何か代案を考えているところです。

🌸 グリーンビル *****

<学校の対応策>

- ・1学期（4月4日～6月13日）は、土曜日の授業時間は家庭学習をする。
- ・4時限分の学習スケジュール（国語・算数または数学）とその週の宿題をリストにして、木曜または金曜日までに先生が保護者宛メール配信。テスト、ワークシート、解答なども添付する。
- ・テストや、作文等先生が採点・確認・評価したほうが良い課題は、スキャン/Pdfで提出するよう指示。提出された課題のほとんどは、先生が確認（赤ペン、コメント、スタンプ機能などを利用）して返却。
- ・ウェブミーティング（または授業）に関しては、2学年を除き、兄弟姉妹が重ならないようなスケジュールに従って約30分程度、4月2週目以降随時SkypeまたはZoomを活用して実施している。

＊幼稚部（年長組）は先生・園児・保護者とで初日からZoomを利用

＊小2は児童に兄弟姉妹がいないため、かなりの時間にウェブによる授業を実施

・本校運営委員会を始め役員の方々の迅速かつ多大な協力のお陰で、副教材及び小学部教師の指導書まで最速で入手が可能となった。（5月半ば時点で一部副教材が未着ではあるが、これはこちらサイドではコントロールできないと承知している。）

🍀 クリーブランド *****

オンラインによる授業実施中の評価基準

小学部	1、2年	テスト、発表	20%
		宿題	60%
		授業態度	20%
	3、4年	テスト（単元テスト、漢字テスト）	20%
		宿題、課題（作文、ワークシート）	50%
		授業態度	30%
	5、6年	テスト	30%
		宿題、課題	50%
		授業態度	20%
中学部		テスト	20%
		宿題、課題	50%
		授業態度	30%

*小学部はテスト（単元テスト、漢字テスト等）は保護者が採点
未解答、誤解答は赤ペンでマーク、家庭でフォロー
（解答は事前に保護者に配布）

*中学部はテスト（単元テスト、漢字テスト等）は教員が採点

テストは家庭で実施、小学部は採点后、中高等部はそのままスキャンか写真で指定日までに担任、教科担任に送信する。

*宿題、課題はGoogle Classroomにアップ

🍀 ここが聞きたい *****

- ・家庭学習のやりとりは、どの様な手段で行っていますか。
- ・発言、または反応の少ない児童への手立て。（オンライン授業中に）

令和2年4月15日

中部テネシー日本語補習校 校長 後藤 誠司

新学習指導要領の 趣旨を生かした 評価のあり方について

はじめに

新学習指導要領の改訂の趣旨は、小中高教育を一貫して子どもたちに身に付けさせたい資質能力を「知識技能」「思考表現判断」「学びに向かう力・人間性等」の3つの観点に分類し、学習の内容に応じた身に付けさせたい資質能力を明確にしていくことです。その結果、「どのような力を子どもたちにつけることができたか」（これが**評価**です）を把握し、次の子どもの成長につながるアプローチをすることが求められています。（これが**評価と指導の一体化**です）

上記の考え方からすれば、「通知表」は、指導の終着点ではなく、子どもたちの次への成長へつなげるためのあくまでも手立てのひとつにすぎないという視点が必要です。

2

1. 通知表の法的根拠

指導要録の法的根拠 学校教育施行規則12条の3 文科省から様式が示され、それに基づいて各市町村教育委員会が作成する。（様式、書き方は全国ほとんど同じ）

通知表の法的根拠

児童生徒の**学習状況について保護者に対して伝えるもの**。法令上の規定や、様式に関して国として例示したものは無い。

※ほとんどの学校が、指導要録に準じて通知表を（市町村ごとに）作成していた。

3

2. 本校における通知表の意義と課題

視点（～見ると）	意義 プラス面	課題 マイナス面
(1)子どもから	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のがんばりや課題を総合的に知る機会。 ・区切りを意識する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のがんばりと評定が一致しない。テストの点数と評定が一致しない。評定の規準が分からない。
(2)保護者から	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの学校生活や学習状況について総合的客観的に知る手立てのひとつ ・我が子に対する先生の理解度を知ら手がかり 	<ul style="list-style-type: none"> ・評定とテストの点数との相関が分からない。評定の規準が分からない。・子どもの学力の客観的な位置づけが知りたい。・習得した力とたりない部分を明確に示してほしい。
(3) 教員から	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの学習習得状況を総合的客観的に確認できる機会 ・子どもの様子を伝えるとともに保護者との連携を図る手立てのひとつ 	<ul style="list-style-type: none"> ・関心態度や思考判断表現の評価の仕方が難しいので、評定の基準が曖昧になってしまう。学習でも生活でも子どもの正しい姿をうまく伝えられない。

4

3. 本校の通知表の方向性

- (1) 通知表には、「保護者との評価の共有」という非常に重要な働きがあります。所見を保護者向けの文にするにはそのためです。そして評価は評定とは違います。
- (2) 保護者は、通知表に示された子ども学力（知識・技能等の習得状況）と日本国内の学力との相対的な位置付けを知りたいがところですが、補習授業校の通知表で児童生徒（特に中学生）につけた評定と日本国内の評定をすり合わせることは、不可能です。
- (3) 子どもたちの知識・技能（いわゆる見える学力）の習得率は明確に示す一方、「思考・判断・表現力」といった評価の規準の示しにくいものや「主体性や人間性」といった本来評定になじまないものに関しては、子どもたちの学習に向かう姿を保護者と共有することが重要である。

5

評価を行う中で、教員には、子供たちが行っている学習にどのような価値があるのかを認め、子供自身にもその意味に気付かせていくことが求められる。教員一人一人が、子供たちの学習の質を捉えることのできる目を培っていくことができるよう、研修の充実等を図っていく必要がある。

平成28年12月 文科省－学習評価のあり方について－

6

4. 令和2年度中部テネシー日本語補習校小学部の通知表について

- (1) 各教科の評価の観点、指導要録に準じて設定します。
- (2) 評定（ABCや321で評価すること）をやめます。
- (3) 知識、技能の評価については、ワークテストや平常テストの定着率をそのまま書きます。
- (4) 「思考・判断・表現力」「主体性や人間性」の項目は記述評価のみにします。
- (5) 所見欄は、生活面、行動面、交友面、特別活動についてのみ書きます。

7

教科	観 点	学 年	1 2 3 4 5 6					
			1	2	3	4	5	6
国 語	知識・技能							
	思考・判断・表現							
	主体的に学習に取り組む態度							
	評定							
社 会	知識・技能							
	思考・判断・表現							
	主体的に学習に取り組む態度							
	評定							
算 数	知識・技能							
	思考・判断・表現							
	主体的に学習に取り組む態度							
	評定							

小学校の新しい指導要録

教科	観 点	学 年	1 2 3 4			
			1	2	3	4
国 語	知識・技能					
	思考・判断・表現					
	主体的に学習に取り組む態度					
	評定					
社 会	知識・技能					
	思考・判断・表現					
	主体的に学習に取り組む態度					
	評定					
算 数	知識・技能					
	思考・判断・表現					
	主体的に学習に取り組む態度					
	評定					

中学校の新しい指導要録

※ 新学習指導要領の完全実施年度に沿って、中学部高等部と順次このやり方にして、先生方の共通理解ができ、全学年で本年度から実施しても構いません。

8

5. 本年度の小学部通知表の見本

小学部〇年学習のようす		児童名 ()
国語	知識・技能	漢字の定着率 (%) 言葉に関する知識の定着率 (%)
	思考判断表現力	教科書の文章をもとに、自分の考えをまとめる力がついてきています。特に〇〇の学習では作者の考えを分かりやすくみんなに説明できました。自分の考えに固執しない柔軟性も身に付けたいところです。
	主体的に学習に取り組む態度	〇〇の学習では、学習内容をもとに自分なりの課題を見つけ、解決しようとする姿勢が見られました。自分の興味を持ったこととそうでない時の差を意識して履のぞいてほしいものです。
算数	知識・技能	計算力 (%) 図形に関する知識技能 (%)
	思考判断表現力	文章問題を図や表にするのが大抵上手です。そのため、問題の解き方を友人たちに伝えた説明ができます。円の面積を求める公式を導くときは一人だけだけのイメージから四角形に変形する方法も考えました。
	主体的に学習に取り組む態度	問題を自分の納得するやり方で解決したいという意欲は素晴らしいのですが、こだわりが強すぎて効率的で簡単なやり方より自分のやり方を優先してしまうところも見られました。
知識・技能	社会事象に関する知識 (%)	

知識技能に関する内容は学年やその時期の学習内容によって変わっても良い。項目を加えても良い。

具体的な学習場面を明示する

観点に対してついでに力を示す

6. 通知表を書くにあたっての留意点

今回提案した通知表を書くにあたって留意していただきたいことや作成のためにやっていただきたいことを書きます。

(1) 授業での子どもたちの姿や子どもたちからの提出される課題を見ながら各教科で

- ・ 知識・技能面の力
- ・ 思考・判断・表現力面の力
- ・ 学ぶ意欲・人間性などに関わる力

に分類し、具体的な姿（課題への関わり方）を記録して行ってください。（下表参照）
逆にこの三つを資質能力を意識した授業や課題を作成し与えてください。

日	月	日	観察別授業記録	課題	観察	観察
観察者など						
観 測	知識・技能	思考・判断	表現力	学ぶ意欲・人間性		
1. ジョナタリー 英語学						

(2) 教材研究や授業をやっていく中で、学習内容に沿って子どもに身に付けさせたい力を明確にして行ってください。「この学習では登場人物の言動をもとにその気持ちを考えさせることで子どもたちの思考力を伸ばすことに力を入れよう」というように、子どもの実態や教材に合わせて、つけたい力を焦点化して指導してください。

(3) 1日の授業で全員の全部の観点について見取ることなど不可能です。全員の子どもについて 1ヶ月に1回は「〇〇さんの表現力のこんなところが伸びている」

「□□さんは算数の掛け算の学習で筋道だった説明ができた」というような気づきをメモしておいていただければ十分です。（慣れてきたら記録も取りやすくなります）それをそのまま通知表に使っていただければよいのです。

7. その他

今年度の特に、小学部を中心に上述の評価（通知表のつけ方）を意識した授業の進め方を研究していただくつもりでした。

国語、算数ともに1時間は徹底的に知識・技能の習得を目指す授業をしていただく。1時間は、「子どもが主体的に関わりながら思考・判断・表現力が培われる問題解決学習」です。そしてそれらの授業に関連して「自分を振り返る」時間を確保していく授業や指導の流れが確立できたらいいと考えていました。まずは一歩ずつできることからですね。